

## 第2回市民生活専門委員会での主な意見

### (コミュニティづくり)

- ・「地域コミュニティづくり」について、主な施策の方向は「〇〇の推進」が並んでいるので、具体的な事例などを入れて施策の顔が見えるようにした方が分かりやすい。行政で使う言い回しや用語だと分かりづらいので、具体的事例をあげると文言も理解しやすい。
- ・施策の方向の「行政では対応が難しい地域課題…」については、町内会や自治会の負担を感じさせる表現になっているのではないか。
- ・旧市町村ごとに地域審議会が設けられ、それぞれの地域に即したまちづくりを進めているが、地域リーダーの育成の取組みとして、他地区の優秀事例など学ぶ機会を設け、それぞれの地域の形に即した形を模索していくというやり方が良いのではないか。

### (地区担当職員制度)

- ・「時代の変化に応じた自治組織活動の見直しや負担軽減に向けた取組みの推進」については、今年度から実施している地区担当職員制度など具体的な取組み事例も記述したほうが良い。
- ・地区担当職員制度は、職員本人が何をすればよいのか分からないといった印象で、趣旨は分かるが実効性がないと感じる。

### (消防団関連)

- ・各分団の動きが鈍く、小回りが利かないので、災害時に即座に対応できる消防団体制づくりが必要である。
- ・朝日地域に 200 ヶ所の消火栓ボックスのホースが穴が開いて使えない状態なので、ホースの更新を最優先してほしい。
- ・小さな集落で消防団員が 1 名だと災害時にポンプ車を出動させることが出来ないため、消防団OB以外にも協力員になれるように検討していただきたい。
- ・子育てを終え仕事をしていない女性たちなどの人材の掘り起こしをして、消防団員として活躍していただくことを考えてはどうか。
- ・消防団員、消防団OBなど日中人がいない間の消火活動にあたって、一定講習を受けた人が消火栓を使用することを検討していただきたい。

### (災害対応)

- ・災害が起きてからの費用のことを考えると、それを未然に防ぐ対策にお金を投資した方が効率的ではないか。

#### (空き家対策)

- ・タヌキや狐などの追い払いだけでなく、もっと抜本的な対策を講じてほしい。

#### (不法投棄対策)

- ・不法投棄対策について、日曜祭日の見回りなど、具体的な対策を明記したほうが良い。

#### (資源循環)

- ・剪定した枝などを、シュレッダーを使って堆肥化・有機物化する方法を研究して欲しい。

#### (エネルギー関連)

- ・エネルギーの地産地消を推進するためには、需要供給の面などから、コミュニティとのつながりが重要になってくると考えられるので、もう少しコミュニティと関連付けて記載してはどうか。
- ・小水力発電の推進など、地域の農村や中山間地で行われる取組みを地域コミュニティと結びつけながら進めていくことは非常に重要である。
- ・薪ストーブに関するアンケートを実施した結果、行政の施策と市民感情との乖離が見られたので、市民へのPRや啓蒙を推進する必要がある。
- ・地域資源を生かしたエネルギーの創出は良い取組みである。

#### (婚活)

- ・未婚の方が増えてきており、その方たちは地域の集まりに出てこないという印象もあり、少子高齢化対策として今後婚活事業も重要である。

#### (弱者目線)

- ・少子高齢化対策、雇用対策、災害対策、環境対策など、市民生活を守るうえで、弱者の目線に立った行政の施策をお願いしたい。